



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年6月20日

上場取引所 東

上場会社名 アークランドサカモト株式会社
コード番号 9842 URL <http://www.arcland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂本 勝司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 堀川 優人

TEL 0256-33-6000

四半期報告書提出予定日 平成23年7月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の連結業績(平成23年2月21日～平成23年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	24,521	10.1	2,484	45.8	2,605	44.6	1,098	11.8
23年2月期第1四半期	22,278	△1.0	1,704	11.8	1,802	10.1	982	17.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	54.17	—
23年2月期第1四半期	48.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年2月期第1四半期	63,828	—	37,544	—	56.9	—	1,789.58	
23年2月期	61,602	—	36,743	—	57.7	—	1,751.57	

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 36,293百万円 23年2月期 35,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成24年2月期の連結業績予想(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,500	4.8	4,100	17.2	4,250	15.0	2,000	2.2	98.62
通期	92,000	3.6	6,950	12.6	7,300	11.6	3,550	8.4	175.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4 2. その他の情報をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 24年2月期1Q 20,690,843株 23年2月期 20,690,843株

② 期末自己株式数 24年2月期1Q 410,386株 23年2月期 410,386株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 24年2月期1Q 20,280,457株 23年2月期1Q 20,280,645株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成24年2月期の個別業績予想(平成23年2月21日～平成24年2月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	9.7	3,500	24.3	3,600	19.7	1,650	△ 2.0	81.36
通期	78,600	8.9	5,500	13.9	5,800	12.2	2,750	△ 16.2	135.60

(注)当四半期における個別業績予想の修正の有無 有

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年2月21日から平成23年5月20日まで)におけるわが国経済は、海外経済の回復などにより持ち直しの動きが見られたものの、3月11日に発生した東日本大震災の影響などにより、雇用・所得環境が改善しないまま、個人消費が伸び悩む厳しい状況が続くこととなりました。

このような環境下、当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は245億21百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は24億84百万円(前年同期比45.8%増)、経常利益は26億5百万円(前年同期比44.6%増)、四半期純利益は10億98百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

巨大店舗がリードするホームセンター部門の売上高は177億46百万円(前年同期比9.3%増)となりました。東日本大震災の復旧需要等によりホームセンター既存店売上高が8.4%増と好調に推移しました。加えて、昨年11月にオープンしたホームセンタームサシ高岡中曽根店が寄与したためであります。

その他小売部門の売上高は15億98百万円(前年同期比18.5%増)となりました。昨年7月にオープンしたムサシ食品館長岡店が寄与したことによります。

その結果、小売事業の売上高は193億44百万円(前年同期比10.0%増)となりました。営業利益については、増収効果に加え粗利益率の改善もあって、16億36百万円(前年同期比64.9%増)と大幅増益となりました。

<卸売事業>

全国のホームセンター既存店売上高は堅調に推移しました。それにより、卸売事業の売上高は20億3百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は増収効果により3億4百万円(前年同期比28.6%増)となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」の直営店が前年同期末比10店舗増加したことにより、売上高は26億5百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は3億56百万円(前年同期比20.3%増)となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は5億67百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は1億80百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 連結財政状態の概況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して22億26百万円増加し、638億28百万円となりました。前期末の閑散期に比べ繁忙期となるため、流動資産が増加したことによるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比較して14億26百万円増加し、262億84百万円となりました。有利子負債が減少した一方で、支払手形及び買掛金、資産除去債務が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して8億円増加し、375億44百万円となりました。当四半期純利益により、利益剰余金が増加したことが主な要因であります。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して2億15百万円減少し、24億58百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、9億52百万円(前年同期は15億42百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益19億86百万円、減価償却費5億83百万円、法人税等の支払額17億28百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、1億10百万円(前年同期は2億88百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、10億56百万円(前年同期は12億92百万円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出6億93百万円、配当金の支払額3億4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの第1四半期業績は、売上高、営業利益、経常利益とも大幅に計画を上回りました。これは、主に東日本大震災の復旧需要によるものであります。こうした復旧・復興需要が当分の間継続するものと考えられる一方で、大震災の影響による電力不足など経済活動の低下や不透明な世界経済及び国内政治動向が懸念されます。

こうした状況を加味し、第2四半期連結累計期間の業績予想は売上高475億円、営業利益41億円、経常利益42億50百万円、四半期純利益20億円、通期の業績予想につきましては、売上高920億円、営業利益69億50百万円、経常利益73億円、当期純利益35億50百万円にそれぞれ前回公表（平成23年4月1日）から上方修正いたします。

【連結業績予想数値の修正】

平成24年2月期第2四半期（累計）（平成23年2月21日～平成23年8月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	46,500	3,600	3,750	1,750	86.29
今回修正予想（B）	47,500	4,100	4,250	2,000	98.62
増減額（B－A）	1,000	500	500	250	－
増減率（％）	2.2	13.9	13.3	14.3	－
（参考）前期第2四半期実績 （平成23年2月期第2四半期）	45,332	3,497	3,697	1,956	96.48

平成24年2月期（平成23年2月21日～平成24年2月20日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	91,000	6,450	6,800	3,300	162.72
今回修正予想（B）	92,000	6,950	7,300	3,550	175.05
増減額（B－A）	1,000	500	500	250	－
増減率（％）	1.1	7.8	7.4	7.6	－
（参考）前期実績 （平成23年2月期）	88,818	6,169	6,540	3,276	161.55

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計方針の変更

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、売上総利益は3百万円、営業利益及び経常利益は12百万円、税金等調整前四半期純利益は450百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,002百万円であります。

(「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

②表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461	2,676
受取手形及び売掛金	2,728	2,421
商品及び製品	10,745	9,111
その他	1,693	1,395
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	17,625	15,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,378	27,199
土地	7,898	7,898
その他(純額)	1,313	1,349
有形固定資産合計	36,589	36,447
無形固定資産		
のれん	5	6
その他	2,000	2,020
無形固定資産合計	2,006	2,026
投資その他の資産		
投資有価証券	665	715
敷金及び保証金	5,289	5,330
その他	2,122	1,945
貸倒引当金	△471	△465
投資その他の資産合計	7,606	7,525
固定資産合計	46,203	45,999
資産合計	63,828	61,602
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,614	10,444
短期借入金	3,650	3,700
1年内返済予定の長期借入金	694	1,366
未払法人税等	1,046	1,789
賞与引当金	412	195
その他	2,641	2,162
流動負債合計	20,058	19,657
固定負債		
長期借入金	104	126
長期預り保証金	3,382	3,362
事業再構築引当金	8	11
退職給付引当金	962	930
役員退職慰労引当金	427	427
資産除去債務	1,011	—
その他	328	342
固定負債合計	6,225	5,200
負債合計	26,284	24,858

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	23,859	23,065
自己株式	△637	△637
株主資本合計	36,288	35,494
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	28
評価・換算差額等合計	4	28
少数株主持分	1,250	1,221
純資産合計	37,544	36,743
負債純資産合計	63,828	61,602

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)
売上高	22,278	24,521
売上原価	14,871	16,165
売上総利益	7,406	8,356
販売費及び一般管理費	5,702	5,871
営業利益	1,704	2,484
営業外収益		
受取利息	7	7
仕入割引	23	34
持分法による投資利益	6	19
その他	71	63
営業外収益合計	108	125
営業外費用		
支払利息	9	4
その他	2	1
営業外費用合計	11	5
経常利益	1,802	2,605
特別利益		
投資有価証券売却益	—	24
テナント退店収入	37	—
その他	2	0
特別利益合計	40	24
特別損失		
固定資産売却損	13	—
固定資産除却損	10	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	438
災害による損失	—	176
その他	24	27
特別損失合計	49	643
税金等調整前四半期純利益	1,792	1,986
法人税、住民税及び事業税	280	1,022
法人税等調整額	471	△193
法人税等合計	751	828
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,157
少数株主利益	58	58
四半期純利益	982	1,098

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,792	1,986
減価償却費	569	583
のれん償却額	6	0
受取利息及び受取配当金	△7	△7
支払利息	9	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	438
売上債権の増減額 (△は増加)	△367	△306
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△585	△1,660
仕入債務の増減額 (△は減少)	373	1,169
その他	△38	474
小計	1,752	2,683
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△8	△4
法人税等の支払額	△202	△1,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,542	952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△289	△209
無形固定資産の取得による支出	△9	—
敷金及び保証金の差入による支出	△61	△55
敷金及び保証金の回収による収入	80	95
その他	△8	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△288	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△50
長期借入金の返済による支出	△693	△693
配当金の支払額	△304	△304
少数株主への配当金の支払額	△21	△29
その他	△72	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,292	△1,056
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△38	△215
現金及び現金同等物の期首残高	2,000	2,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,962	2,458

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(平成22年2月21日～平成22年5月20日)

区分	小売事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	外食事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,580	1,915	2,227	554	22,278	—	22,278
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,930	—	260	3,191	△3,191	—
計	17,580	4,846	2,227	814	25,469	△3,191	22,278
営業利益	992	237	296	172	1,698	6	1,704

(注) 事業区分は事業内容を勘案して、下記のとおり区分しております。

小売事業……………D I Y関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売

卸売事業……………D I Y用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売

外食事業……………とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営

不動産事業……………不動産賃貸業

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、以下の事業内容に基づき「小売事業」、「卸売事業」、「外食事業」、「不動産事業」の4つを報告セグメントとしております。

小売事業……………D I Y関連用品、園芸用品、ペット用品等のホームセンター、スーパーセンター及びアート&クラフト専門店、食品専門館での店頭販売
 卸売事業……………D I Y用品等を全国及び当社グループのホームセンターへ販売
 外食事業……………とんかつ専門店「かつや」を主力とした飲食店の経営
 不動産事業……………不動産賃貸業

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成23年2月21日 至平成23年5月20日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	19,344	2,003	2,605	567	24,521	—	24,521
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,666	—	240	3,906	△3,906	—
計	19,344	5,670	2,605	807	28,428	△3,906	24,521
セグメント利益	1,636	304	356	180	2,478	6	2,484

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年5月20日)		当第1四半期 連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年5月20日)		増減		(参考) 平成23年2月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
卸売事業	1,915	8.6	2,003	8.2	88	4.6	7,429	8.4
小売事業	17,580	78.9	19,344	78.9	1,764	10.0	69,400	78.1
ホームセンター部門	16,232	72.9	17,746	72.4	1,514	9.3	62,732	70.6
D I Y関連用品	4,038	18.1	4,328	17.7	289	7.2	15,754	17.7
家庭用品	5,187	23.3	5,977	24.4	789	15.2	22,605	25.5
カー・レジャー用品	2,027	9.1	2,384	9.7	357	17.6	7,411	8.3
園芸用品	4,897	22.0	4,977	20.3	79	1.6	16,589	18.7
その他	81	0.4	79	0.3	△2	△2.5	371	0.4
その他小売部門	1,348	6.0	1,598	6.5	249	18.5	6,668	7.5
外食事業	2,227	10.0	2,605	10.6	377	16.9	9,696	10.9
不動産事業	554	2.5	567	2.3	13	2.4	2,291	2.6
連結売上高	22,278	100.0	24,521	100.0	2,243	10.1	88,818	100.0